

J Aバンク新潟における地域密着型金融の取組状況（平成 27 年度）

J Aバンク新潟（県下 24 J Aと新潟県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、「J Aバンク新潟中期戦略（平成 28～30 年度）」に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 27 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

《目 次》

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援	・ ・ ・ ・ ・ P 2
2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援	・ ・ ・ ・ ・ P 4
3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供	・ ・ ・ ・ ・ P 6
4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献	・ ・ ・ ・ ・ P 7

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク新潟は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク新潟は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 28 年 3 月末時点の J Aバンク新潟の農業関係資金残高^(注1)は 80,753 百万円（うち農業経営向け貸付金 41,101 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は 23,482 百万円を取扱っています。

(注1) 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) J Aバンク新潟が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】 (単位：百万円)

	平成 28 年 3 月末現在
農業	41,101
穀作	21,041
野菜・園芸	3,017
果樹・樹園農業	1,095
工芸作物	184
養豚・肉牛・酪農	1,220
養鶏・鶏卵	154
養蚕	-
その他農業	14,387
農業関連団体等	39,651
合 計	80,753

(注)

1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

2 「農業関連団体等」には、J Aや全農とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成28年3月末現在
プロパー資金	65,556
農業制度資金	15,197
農業近代化資金	5,389
その他制度資金	9,807
合 計	80,753

(注)

- 1 「プロパー資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク新潟が転貸で融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク新潟が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成28年3月末現在
日本政策金融公庫資金	23,481
その他	0
合 計	23,482

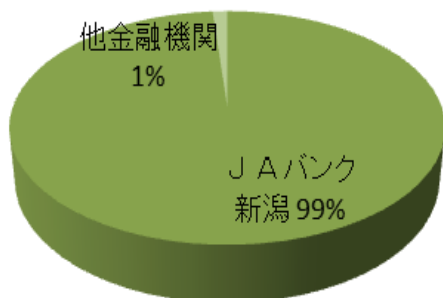
(注) JAバンク新潟では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク新潟は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

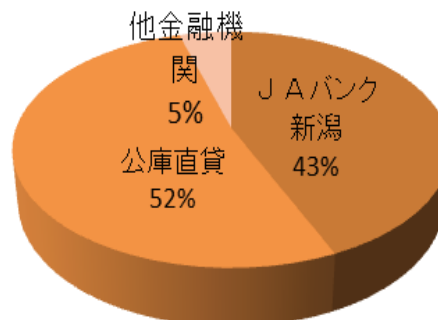
【新潟県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】

農業近代化資金取扱いシェア(平成27年12月末時点) 公庫農業資金取扱いシェア(平成28年3月末時点)

出所：農林水産省



出所：日本政策金融公庫



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

JAバンク新潟では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

県下24JAでは、担い手への訪問・資金提案活動を中核的に担う「農業融資相談員」をJA本支店に151名配置し、また、農業融資の実務を統括する「担い手金融リーダー」を45名設置しています。

当会では、農業部を中心に「県域農業金融センター機能」を構築し、JAの指導・サポート機能と農業法人等への融資相談機能を併せ持つことで、一元的な取組みを進めています。JAの体制整備や人材育成を支援するとともに、JAと連携した協調融資などにも取り組んでいます。

また、農業融資相談員等の相談対応力向上を目的に、JAバンク独自の農業融資資格制度である「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を進めており、平成28年3月末現在では317名が取得しています。

(3) J A内事業間連携の強化

J Aでは農業者の多様なニーズに応じていくため、信用事業と営農・経済事業等との連携を強化しています。当会ではJ A新潟中央会やJ A全農にいがた、J A共済連新潟とも連携して、営農・経済事業担当者を含めた合同会議や研修会を開催するなど、J A内における事業間連携の強化を支援しています。

また、J Aグループの総合力の一層の発揮に向けて、平成28年4月より中央会・連合会の共通的な部署として、「J Aグループ新潟担い手支援室(略称：担い手サポートセンター)」を設置しました。

【具体的取組事例】

○ 「第3回J A担い手支援推進集会」の開催(平成27年12月実施)

農業者への対応や出向く体制の強化、情報交換を目的にJ A新潟中央会、J A全農にいがた、J A共済連新潟と共催で実施しました。

(4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客さま満足度の計測(農業メインバンクCS調査)を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク新潟は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク新潟では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、「青年等就農資金」を取り扱っているほか、独立新規就農者や研修受入先を対象とした「J Aバンク新規就農応援事業」や、J Aバンク新潟独自の「親元就農応援事業」を展開しています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件、百万円)

	平成27年度 実行件数	平成27年度 実行金額	平成28年 3月末残高
青年等就農資金	13	67	69
就農支援資金	—	—	68
新規参入者経営安定対策資金	2	2	20
合計	15	69	157

(2) 農商工連携の推進

J Aバンク新潟では、新潟県の農産物の販路拡大を目指し、商談会の開催など農商工連携に取り組んでいます。

【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	来場者数	内容
うまさぎっしり 新潟食の大商談会	平成 27 年 9 月 11 日	NICO、新潟県、 新潟県内金融 機関ほか	99 社	1,124 名	2JA および 12 取引先の出 展支援
情報誌 Sole!にいがた	平成 22 年 7 月創刊 年 4 回、 各 21,000 部発行	新潟県信連			農商工連携を促進する一 環として、フリーペーパ ー形式の情報誌を発行

【Sole!にいがた】

県内の J A 窓口や直売所、道の駅、
スーパー等で無償配布しています。



(3) 生産者と消費者をつなげる場の設定

J Aバンク新潟は、新潟県生活協同組合連合会、新潟県森林組合連合会、新潟県漁業協同組合連合会、新潟県酪農業協同組合連合会、J A新潟中央会、J A全農にいがた、J A共済連新潟との共催により、「第 17 回協同組合まつり」（平成 27 年 10 月 25 日、新潟市産業振興センター）を開催し、9,278 名の方にご来場いただきました。会場では県内農畜産物等の紹介・直売や県内農産物を材料とした食事の提供、チャリティーオークション、ステージイベント等を実施し、好評を博しました。

(4) J Aバンク新潟講演会・セミナー等の開催

J Aバンク新潟では、農業者の方を対象とした講演会や、融資のお取引先や系統団体を招いた情報交換会等を開催し、異業種間の情報交流を促進しています。

【平成 27 年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	開催日	主催者	対象参加者	参加者数	内容
第9回 農業法人経営者セミナー	平成28年2月9日	信連	県下農業法人 JA等	87組織 14JA	第1部「農業法人経営における事業継続の取組みについて」(有ダィアファーム 阿部 雅良氏 第2部「事業承継と後継者経営を成功させるポイント～後継者の今が未来を変える～」(嗣後継者の学校 大河原 基剛氏
事業承継セミナー・個別相談会	平成28年3月3日	信連	県下農業法人 JA等	8組織 3JA	嗣後継者の学校 大河原 基剛氏 第1部「計画的な事業承継で未来へつなげる～今こそつくる事業承継計画～」 第2部 個別相談会・グループディスカッション
第28回信連融和会定例総会講演会	平成27年7月17日	信連	信連融資 取引先	65社	元ローソン・ジャパン社長 都築 富士男氏 「成功事例に学ぶこれからの企業経営について」
平成27年度経済・金融セミナー	平成27年11月18日	信連	信連融資 取引先	39社	野村證券㈱ 投資情報部 チーフ・マーケット・エコバスト 美和 卓氏 「2016年 景気と金融の見通し」

(5) 被災者への支援

J Aバンク新潟では、各種自然災害の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
平成 27 年台風被害等 復旧支援資金	J Aバンク 新潟	新潟県下 J A では、台風や大雨の影響による農業被害への対応として、J A グループの利子補給を活用した低利資金を創設しました。	678	1,421

(6) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク新潟では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【平成 27 年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営 改善支援 取組先 A	Aのうち 再生計画を 策定した 先数 a	Aのうち 期末に債務 者区分がラ ンクアップ した先数 b	Aのうち 期末に債務 者区分が変 化しなかつ た先数 c	事業計画 策定率 = a / A	ランク アップ率 = b / A	
正常先①	41	7		37	17.1%		
要 注 意 先	うちその他要注意先②	100	38	24	38.0%	24.0%	
	うち要管理先③	11	3	2	27.3%	18.2%	
破綻懸念先④	42	21	4	31	50.0%	9.5%	
実質破綻先⑤	58	23	7	49	39.7%	12.1%	
破綻先⑥	3	1	1	2	33.3%	33.3%	
	小計 (②～⑥の計)	214	86	163	40.2%	17.8%	
	合 計	255	93	38	200	36.5%	14.9%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 27 年 3 月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク新潟では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) アグリビジネス投資育成株式会社等によるファンドの活用

J Aバンク新潟では、お客さまの資金調達手段の一つとして、農業法人育成のための資本供与の仕組みである「アグリシードファンド」や「担い手経営体応援ファンド」による出資を提案しています。

平成 27 年度には、県内農業法人の資本調達ニーズに対応するため、「アグリシードファンド」で 2 件、8 百万円の出資を実施し、累計 7 件、74 百万円となりました。

(2) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク新潟では、農業者の経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 27 年度 負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 27 年 3 月末残高
農家経済再建資金	13	67	2,104
畜産特別資金	0	0	142
土地改良負担金対策資金	7	78	958
農業経営負担軽減支援資金	0	0	80
その他	0	0	0
合計	20	145	3,284

(注)・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク新潟では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク新潟では、将来を担う子供たちの農業や自然環境、金融経済に対する理解を促進することを目的とした「J Aバンク食農教育応援事業」を展開しています。

主な取組みとして、J A等による子供を対象とした食農教育活動等への助成事業や、補助教材「農業とわたしたちの暮らし」(小学校高学年向け、特別支援学校生向け)などの無償配布を実施しています。小学校高学年向け補助教材は県下の小学校 483 校へ約 20,880 セット、特別支援学校生向け補助教材は県下の小学校・特別支援学校 24 校へ約 387 セットを贈呈し、各学校において授業等に活用されています。

また、県下 J Aでは、下表のような食農教育などの様々な実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動名	活動内容
J A新潟市	農業体験作文コンクール	小・中学生、特別支援学校生に対し農業体験学習「学校教育田」の実体験に基づいた作文コンクールを実施。
J A新潟みらい	あぐりスクール	小学生を対象に、地場農産物のおいしさと栽培の大変さを実感し、地産地消の理解を深めてもらうため、農業体験や調理実習等を実施。
	食農食育出前授業	小学生を対象に、食農教育を実施後、地場産食材にこだわった調理実習を実施。
	わくわくみらい倶楽部(親子収穫体験)	親子を対象に、農業への理解を深めてもらうため、農業体験を実施。
	親子米粉ピザ作り	小学生親子を対象に、米の消費拡大、農業への理解を深めてもらうため、米粉調理教室を実施。

	うちのキッズらんど	地区公民館主催の夏休み子ども体験教室で「食材クイズ」を実施。
	学童野球大会での食農教育活動	小学生を対象とした学童野球大会の中で、県内産牛乳について食農教育を実施。
	農作物収穫体験	小学生以下の親子を対象に、大型直売所に隣接する圃場でさつまいもの収穫体験を実施。
	食農食育図画コンクール	J A管内小学校を対象に、図画コンクールを開催し、入選作品をカレンダーにして管内小学校へ贈呈。
	食農食育に関する図書贈呈	J A管内小学校へ毎月「ちゃぐりん」を贈呈。
J A越後中央	農業体験スクール	保育園児・小学生を対象に、農業体験学習として教育田・教育畑を実施。
	農業施設見学による農業体験学習	小学生親子を対象に、J A農業施設の見学後、調理実習、農業体験を実施。
J Aにいがた南蒲	なんかんたんけん隊	小学生親子を対象に、地域農業を理解し、産地へのこだわりなどを再発見してもらうことを目的とした農業体験バスツアーを実施。
	田上の農業を学ぼう！	小学生親子を対象に、地元で育てられている農産物を知り、収穫することで、食の大切さや農業への理解を深めてもらうため実施。
	なんかん青年部まるごと農業体験	小学生親子を対象に、農業体験を通じ、農業やJ Aへの理解を深めてもらうため実施。
	おやこ収穫体験	園児、小学生親子を対象に、地場農産物に興味・関心を持ってもらうために農産物の収穫体験を実施。
	J A管内小中学校出前授業および合格祈願米の贈呈	J A管内小中学校で出前授業を実施。中学3年生に対しては、受験に向けて「難関（南蒲）突破米」を贈呈。
J A越後さんとう	サマースクール	小学生を対象に、地場産農産物の収穫体験と地場野菜を使った調理実習を実施。
J A越後ながおか	食農食育に関する図書贈呈	J A管内小学校へ毎月「ちゃぐりん」、小学生向け料理本を贈呈。
	農業体験壁新聞 キッズクイズラリー	農業祭で、小学校で取組んだ農業体験を更に深く理解してもらうため、壁新聞を作成してもらった。また、小学生向けに地産地消や、農業の理解を深めてもらうためのクイズラリーを実施。
	さつまいも体験農園	小学生以下の親子を対象に、さつまいもの定植、収穫を通じ、土に触れる楽しさを知ってもらうため実施。
J A魚沼みなみ	夏休みこども料理教室	小学校生を対象に、ゲームを交えた食育教室後、地元野菜を使った料理教室を開催。
	グリーンスクール	小学生を対象に、環境・食糧・農業への理解を深めることを目的に、農作業体験や調理実習などを実施。
J A十日町	どろんこキッズスクール	小学生を対象に、農業・調理体験スクールを実施。
	料理教室	親子を対象に、地元農畜産物や米粉を使った料理教室を実施。
J A津南町	津南町農業体験学習推進協議会（どろんこ学習）	J A管内の小中学校が行っている食農教育活動（花卉・野菜栽培学習、学校田）に対してJ A津南町が指導、活動費助成を実施。

J A えちご上越	ちゃぐりん道場	小学生を対象に、農業体験、料理教室等を実施。
J A ひすい	そば種まき・そば打ち体験	小学生を対象に、食と農の大切さを知ってもらうため、そばの種蒔きと収穫したそば粉を使ってそば打ち体験を実施。
	大豆栽培と豆腐作り体験	小学生を対象に、食と農の大切さを知ってもらうため大豆を栽培し、その大豆で豆腐作りを実施。
	稲作農業体験	保育園児、小学生を対象に、食と農の大切さを知ってもらうため、田植え、稲刈り体験を実施。
	大豆栽培と味噌作り体験	保育園児を対象に、食と農の大切さを知ってもらうため、大豆を栽培し、その大豆で味噌作りを実施。
	さつまいも栽培体験	保育園児を対象に、食と農の大切さを知ってもらうため、さつまいも栽培と収穫体験を実施。
新潟中央会	第 40 回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール	次代を担う子供たちに農業の多面的機能とごはん食の重要性等について理解を深めてもらうため、作文と図画コンクールを実施。



「どろんこキッズスクールの様子」

(2) その他の地域貢献活動

J Aバンク新潟では、地域社会の一員として、文化、スポーツ、社会福祉、環境などの分野で幅広い地域貢献活動を展開しています。

○ 「エコ定期貯金」の受入を通じた、環境保全団体への寄付金の贈呈

地域の自然環境保護を支援する取組みとして、受入残高の 0.05%相当額を寄付し、郷土の自然環境保護に貢献する「エコ定期貯金」の取扱いをしています。

多くのお客様から趣旨にご賛同いただいた結果、平成 27 年度は 1,630,392 円を公益社団法人「にいがた緑の百年物語緑化推進委員会」に寄付することができました。

当会では以下の取組みも行なっています。

○ 公益信託「J Aバンク新潟県信連創立 50 周年記念・ホームヘルパー支援基金」

新潟県内の社会福祉法人やボランティア団体等を助成対象者とし、ホームヘルパーの活動および当該活動を支援する設備等に対し助成しています。

○ 「スポーツ教室」への特別協賛

「スポーツを通じた青少年の健全育成」の趣旨に賛同し、アルビレックス新潟（サッカー）及び新潟アルビレックスBB（バスケットボール）が開催する「スポーツ教室」への特別協賛を行っています。



「アルビレックス新潟のコーチ・スタッフによる
保育園・幼稚園児向けのサッカー教室の様子」



「新潟アルビレックスBBの選手による
小学生向けバスケットボール教室の様子」

○ 「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛

公益財団法人新潟市芸術文化振興財団が主催する「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛を行うとともに、文化交流の振興を支援する目的から、県内在住の留学生等を公演に招待し日本の伝統文化に触れてもらいました。

○ エコキャップ運動への参加

ペットボトルのキャップを集め世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加しています。

○ 環境への取組み

J A新潟ビル内のLED照明への切替えによる省エネ化、電気自動車等エコカーの業務車両への導入、クールビズの実施など、節電への対応や地球温暖化防止策に積極的に取り組んでいます。

○ 役職員によるボランティア活動への参加

新潟市が主催する地域清掃活動に毎年参加しています。

また、新潟県赤十字血液センターのご協力により、団体献血を年2回実施しています。



「献血の様子」

○ 地域行事への参加

「新潟まつり大民謡流し」等の地域行事に地域の一員として積極的に参加し、地域の皆様との交流を大切にしています。

以上